

夜が明けて明けの明星がわたしたちの心に昇るまで、
暗い所に輝くともし火に心をとめるように
預言者の言に心をとめることによって、
主の来臨のために自分自身の用意を整える

聖書：Ⅱペテロ 1:19．詩 119:105, 130．啓 2:28．マラキ 4:2．Ⅰテサロニケ 5:4-6

I. 信者たちが預言者の言葉に心をとめることは、極めて重要です——Ⅱペテロ 1:19：

- A. 預言者の言葉は、神がわたしたちに知るようにと要求している事柄です。信者たちはそれらを心にとめるべきです——Ⅰペテロ 1:10．Ⅱペテロ 3:2．ルカ 1:70。
- B. 主イエスはわたしたちに、預言者の言葉を理解するようにと命じました。これは、信者たちが聖書の預言者の言葉に注意を払わなければならないことをはっきりと示しています——マタイ 24:15．参照、ダニエル 9:24-27。
- C. もし召会がこれらの預言者の言葉に十分な注意を払わないなら、多くの信者が信仰を失い、偽りによって欺かれ、そのような知識がないゆえに破壊され、目を覚ましていないために主の来臨を忘れてしまうことは、避けられないでしょう——ホセア 4:6．Ⅰテサロニケ 5:4-6．マタイ 24:42．Ⅰペテロ 5:8。
- D. もし信者たちが聖書の預言(預言者の言葉)を持っていなければ、彼らは暗やみの中に落ち込んでしまうでしょう——使徒 26:18．ヨハネ 12:35-36．エペソ 5:8-9：
 - 1. 今の時代は、夜です——ローマ 13:12．Ⅰテサロニケ 5:4-8。
 - 2. 主イエスが来られるとき、夜は明けます(Ⅱペテロ 1:19)。次の時代、すなわち王国時代は、昼となります。

II. ペテロは聖書の預言(預言者の言葉)を、暗い所に輝くともし火にたとえています——Ⅱペテロ 1:19：

- A. これが示している事は、この時代が暗い夜の暗い所であるということと(ローマ 13:12)、この世のすべての人々が暗やみの中で行動し活動しているということです(参照、使徒 26:18)。
- B. 聖書の預言者の言葉は、信者たちに対して輝くともし火のように、彼らの暗やみの中で輝く霊的な光を伝達し(知的理解のための文字の知識だけではなく)、彼らを導いて真昼へと入らせ、さらには暗い夜を経過させて、主の現れる夜明けの日に至らせます——Ⅱペテロ 1:19．Ⅱテモテ 4:8．1:12。
- C. 太陽の光としての主が出現する前、わたしたちは光としてのこの言葉に、

わたしたちの歩みを照らしていただく必要があります——マラキ 4:2。詩 119:105, 130。

- D. もしわたしたちが、暗い所でともし火として輝く聖書の預言者の言葉に心をとめるなら、キリストはわたしたちの心に昇り、暗やみの中で輝きます——Ⅱペテロ 1:19。

Ⅲ. 夜が明けて明けの明星がわたしたちの心に昇るまで、わたしたちは暗い所に輝くともし火に心をとめる必要があります——Ⅱペテロ 1:19：

- A. 「暗い所」と訳されたギリシャ語は、「陰うつな場所」、すなわち、むさ苦しい、干からびた、無視された場所と訳すこともできます。
- B. 「夜が明けて」は^{ひゅ}比喩であって、光に満ちた来たるべき時を説明しており、それは夜が明けた輝く日です。明けの明星は、その夜明けの前に信者たちの心に昇ります。これらの信者たちは、聖書の預言の輝く言葉に心をとめることによって、明るくされ照らされている者たちです：
1. これは信者たちを促し励まして、熱心に主の臨在を求めさせ、目を覚まさせます。それによって彼らは、主の来臨(パルシーア)の秘密の部分において主が盗人のように来られる時、主に会うことはないでしょう——マタイ 24:27 とフットノート 1, 42-43 節。Ⅱテサロニケ 2:8 とフットノート 3。
 2. この比喩は、来たるべき時代、すなわち、王国時代を暗に示しています。それは、主の出現(来臨)の時に夜が明けた昼です。その時、主は義の太陽であり、彼の光は輝いて、この時代の暗い夜の闇を打ち破ります——マラキ 4:2。
- C. 明けの明星は、夜明け前の最も暗い時に出現します——啓 22:16 後半。参照、民 24:17。マタイ 2:2, 9-10：
1. これが示している事は、キリストがこの時代の終わりの前の最も暗い時に、輝く明けの明星として出現するということです——啓 22:16 後半。
 2. 主が明けの明星として出現することと主が義の太陽として出現することは、同じ時においてではありません——2:28。マラキ 4:2：
 - a. 明けの明星は、夜が明ける前に出現します。太陽の出現は、夜が明けた後に起こります。
 - b. キリストは義の太陽として、夜が明けた後に、地上のすべての人に対して公に出現します——2 節。
 - c. キリストは輝く明けの明星として、夜が明ける前に、彼のために目を覚まし、用意し、待ち望んでいた勝利者たちに対して、ひそかに出現

します——啓 22:16 後半。

- d. 彼は、彼を愛し、彼のために目を覚まし待ち望んでいた人たちに対して、ご自身を明けの明星としてひそかに与えます。それは、主が長く離れていた後に再来するとき、彼らが優先的に彼の臨在の新鮮さを味わうためです——2:28。

D. わたしたちが、暗い所に輝くともし火に心をとめるように、聖書の言葉に心をとめるとき、わたしたちの内側の状況は、夜が明けた日のようであり、また明けの明星がわたしたちの心に昇るようです——Ⅱペテロ 1:19：

1. 象徴的に言えば、「夜が明けて」は来たるべき王国時代を指しており、それは夜が明けた輝く日です——参照、マタイ 13:43。
2. 全聖書はキリストのさまざまな予表に関して、光としての彼で始まっており、明けの明星としての彼で終わっています——創 1:3．啓 2:28．22:16 後半。
3. 「明けの明星」は、王国時代の夜明け前の夜の最も暗い時に、キリストの出現を愛している者たちの心にひそかに昇るキリストを指しています——16 節後半。
4. わたしたちは、絶えず聖書の輝く言葉に心をとめるなら、わたしたちの中で夜が明けた日としての王国を持ち、また、キリストが輝く明けの明星として実際に出現する前に、キリストが明けの明星としてわたしたちの心に昇るのを持ちます——Ⅱペテロ 1:19．啓 2:28。
5. 明けの明星としてのキリストは、勝利者たちに彼らの第一の褒賞として与えられます。わたしたちは、明けの明星としての主のひそかな出現のために、自分自身の用意を整える必要があります——28-29 節。